

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月 26日

事業所名 都島児童デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習に集中しやすいように環境構成を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で定められている職員配置で行っている。児童発達支援センターそれいゆと連携し公認心理師や社会福祉士、看護師からの意見を取り入れている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		トイレなど室内は段差がなくバリアフリーに配慮している。	必要に応じて検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルに沿って日誌に記録している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回事業所の評価のアンケートを実施し、ホームページにて結果を発信している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価した結果をホームページにて、配信しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価を受けている児童発達支援センターに準じている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修の受講、法人内研修、園内研修を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもや保護者からのニーズを聞き、それぞれの様子に合わせた目標を児童発達支援管理責任者を中心に職員間で話し合い作成している。	

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		契約時に保護者の方に「聞き取りシート」を記入していただいている。発達検査を受けられた時の検査結果のコピーを保護者からいただいている。	
11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、次月の活動内容を職員間で話し合い決めている。	
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの特性等を配慮し、児童発達支援管理責任者を中心に活動内容を検討している。季節ごとにクッキングやクリスマス会、など社会的な慣習を取り入れている。	学習後の余暇の時間に季節に応じたお楽しみ活動を考え取り組んでいます。より工夫した活動が出来るように努めます。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇前に休暇中の取り組みを伺うアンケートを実施し、課題の内容などを考えている。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		支援の内容や子どもの状況等に応じて、個別対応が必要な場合は対応し、集団生活が適している場合は集団での療育に取り組んでいる。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育開始前に全体で活動の流れ配置等を確認している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後、本日の振り返りなどを行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		子ども一人ひとりの記録を支援後とっており、考察などの記録としている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		必要に応じて支援計画の見直しを行い、追加や変更を行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに沿って職員間で話し合い、項目にあった目標を設定している。	
20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者に加え担当職員が参加している。	

関係機関や保護者との連携

21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の先生とも確認を行っている。トラブルが発生した時は、保護者に連絡して早急に解決できるようにしている。	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	必要に応じて今後検討していくようにする。	今後検討します。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		集団での子どもの様子や、困りごとなどを保護者の了解を得たうえで情報の共有化を図っている。	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	該当ケースがない為取り組めていない。	該当するケースがあれば情報提供いたします。
25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		自立支援協議会のこども部会に定期的に参加し、他の事業所と意見交換や年に数回の研修に参加している。	
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	基本的に障がいのない子どもの集団に属しているので、療育を中心に考えている。	皆、地域の学校に所属しているので現在は療育を中心に考えています。
27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加している。	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に取り組んだ課題の内容や様子などのお伝えをしている。必要がある場合は電話でのやり取りを行っている。	療育中に気付いた事や、保護者からの希望があった際にはその都度日程を調整し、懇談や電話での対応を行っています。要望があれば対面での懇談も検討します。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者の方からの相談などを聞いた場合、懇談や電話でのやり取りでアドバイスなどをお伝えしている。	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している。	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった場合、懇談や電話での対応でアドバイスなどお伝えしている。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	検討した結果、実施する事は難しい状況です。	希望があれば懇親会の場の設定を考えている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	重要事項に、相談・苦情受付、解決責任者、苦情解決の手順を記載している。また苦情解決委員として第三者委員を選任している。	苦情解決の流れは重要事項説明書に図式で記載しています。契約時に説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	年3～4回の法人の広報誌などを発行している。1～2月に1度のペースでホームページにて掲載している。	
	35	個人情報に十分注意している	○	鍵付きの棚に個人情報が入っている書類を入れて管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	個々に合わせて子どもへは視覚カードを使用したり、保護者へはルビ入りのお便りや、電話等で対応している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	ホームページにお問合せしやすいようにしている。	地域のフェスタなどに参加し、相談を受けるようにしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	各マニュアルの策定をしています。昨年の保護者の意見を取り入れて検討した結果、保護者の目の届く玄関に設置しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	避難訓練は毎月、行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年園内研修を行なっている。全員が外部研修を受け、障がい児者虐待防止委員を設置した。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	ヘットギアやイヤマフの使用については保護者の同意を得て、支援計画に記載している。	

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者からの聞き取りシートを基にアレルギーの有無を確認し、クッキングなどを行う際に、事前に確認している。	クッキングの時には保護者に食材の確認をしています。今後医師の指示書を提出していただくようにいたします。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	定期的にヒヤリハットの分析集計を行っている。職員会議で報告をしている。その結果を全職員に共有している。	